
ジュゴン Vol.77

ちゃんぶるニュース

 SDCC 2014. 11. 25
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 県知事選勝利
- ジュゴン訴訟の動き
- 4/5 現地での様子
- 東京、大阪での行動
- 満月まつり in 大阪
- 6/7 コラム
- おきなわ便り

森本元防衛相は退任後に、普天間基地の移設先について「軍事的には沖縄でなくてもよいが、政治的には沖縄が最適な地域だ」と述べています。政府は、普天間基地の移設先として名前の挙がった本土の人々の反対の民意は尊重するが、沖縄の民意は絶対に認めないという沖縄差別をしています。沖縄に基地を押し付ける沖縄差別政策に基づく辺野古への基地建設なのです。辺野古では、若者はカヌー隊で、高齢者はテント村で体を張って、ジュゴンの海を守ろう、沖縄を戦場にしてたまるか、やんばるの森を守ろう、宝の海・大浦湾を守ろうと、頑張っています。

東京・本土での闘いを

それに対して、本土にいる私たちにできることは、いろいろありますが、マスコミが報じない沖縄の現実を周囲に知らせることもその一つです。

関西SDCCの精力的な活動で、関西方面の「新基地建設反対」の運動の輪が大きな広がりを見せています。日本全国で、小さな灯がともりはじめています。特に官公庁のある首都圏での活動は重要な意味を持っています。SDCCも所属している首都圏の「辺野古に基地を作らせない実行委員会」（辺野古実）では、新宿や銀座で、宣伝活動をして、防衛省前や官邸前では、抗議活動していますが、新たに海上保安庁を管轄する国土交通省への抗議行動も行っています。省庁交渉も行っています。

東京での集会では、現地と連絡取りあって、生の声を届けています。よりリアルに報告が胸に響きます。

辺野古への新基地建設は集団的自衛権の行使、憲法改悪と一体のものです。辺野古への基地建設を止めることは安倍政権の暴走を止める事にもつながるのです。政府による沖縄への基地押し付けを跳ね返し、沖縄差別を許さない戦いを広めましょう。辺野古のジュゴン保護区を夢見て、首都圏のメンバーはこれからも多くの仲間たちと連帯して行動していきます。（首都圏 宮城韶子）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



情勢

オナガ、みきこW当選！ 新基地建設NO！ 民意の勝利

11月16日、オナガ雄志・県知事、城間みきこ那覇市長が誕生しました。辺野古・大浦湾の埋立て反対、県外・国外移設、普天間の即時閉鎖・撤去、オスプレイ反対を求める建白書路線、民意の勝利です。知事選挙の投票率は64.13%(+3.25%)で、オナガさんは36万820票、なかいま知事に10万票の差をつけ、投票総数の過半数を占めました。みきこさんは10万票を獲得し、自公推薦の市長候補にダブルスコアで勝利しました。さらに注目すべきは、県議補欠選挙で3議席のうち2議席で勝ったことです。名護市区では、今年1月の市長選挙で稲嶺市長に敗れた末松元県議が、補欠選挙でもオール沖縄・無所属候補(共産党元名護市議)に敗北したことです。埋め立て反対の民意はますます鮮明になっています。那覇市区でもオール沖縄・無所属候補(共産党前那覇市議)が当選しました。建白書路線の象徴的な事例です。呉屋選対本部長・金秀会長は「沖縄県民の尊厳を回復した」、平良選対副本部長・かりゆしCEOは「これで良い正月が迎えられそうだ」と仲井真知事を痛烈に批判しました。

政府防衛省は沖縄県知事選挙の結果にもかかわらず、「辺野古・大浦湾の埋め立て計画を予定通り進める」としています。埋め立て反対の闘いは、オナガ新知事誕生で、新たなステージに到達しました。オナガ知事は「名護市とも意見交換しながら、知事権限を使い、あらゆる方法で辺野古・大浦湾の埋め立て計画を止める」と発言。稲嶺名護市長も「これで辺野古移設案は必ず止めることはできる」と決意を新たにしています。防衛省は埋め立ての設計変更を沖縄県に提出しています。辺野古漁港を埋め立てて作業ヤードにすることに名護市が反対しているからです。オナガ知事は変更申請書を厳密に審査することから始めると明言しています。12月11日はサンフランシスコ連邦裁判所でジュゴン訴訟の再開を審査する審理が始まります。私たち原告側の主張が通れば、埋め立て工事はストップします。このような中で、11月28日に予定している防衛・環境・外務省交渉は重要な役割を持っています。



市民ネットで取り組んだ知事選

政府防衛省が地元名護市の意見を無視し、設計変更など強引に進める最中で行われた知事選挙でした。沖縄の未来を拓く市民ネット(略称・市民ネット)は、平和市民連絡会がオナガ候補を支持するために10月4日に結成した勝手連です。私も参加した結成集会での議論は、「なぜ、仲井真知事の選対本部長であったオナガ雄志氏を支持するのか」でした。知事選挙が告示(10月30日)された頃は、沖縄県費4100万円を使い沖縄タイムス、琉球新報に全面広告「21世紀ビジョンを実現しよう」打ち、県職員がパンフレットを配布するなど宣伝戦では仲井真候補がリードしていました。また、保守革新を超えた「オール沖縄」のオナガ陣営(シンボルカラーは草色)の運動がかみ合うには時間がかかりました。SDCCは市民ネットにスタッフを急ぎよ派遣し、那覇市内と名護市内でオナガ選挙を取り組みました(4~5面を参考)。

朝立ち、オナガ街頭演説のための早朝場所取り、地域への政策ビラ入れと道ジュネー、国際通りで城



山内徳信さんの講演「11月知事選挙勝利への道」

間みきこ市長候補の支持を広げるピンク大作戦(シンボルカラーはピンク。旗と鉢巻、政策ビラ)、夕立ち、政談演説会への参加、宣伝カーからの支持の呼びかけなど市民ネットの一員として取り組みました。また、シンボルカラーの服装や鉢巻をした人同士が行きかうと励ましあうほど「オール沖縄」も一体感も増しました。県知事選、那覇市長選勝利は埋め立て反対の闘いにとって極めて有利な状況となりました。

(事務局 蛭川義章)

ジュゴン訴訟の展開と市民運動の展望

沖縄県知事選挙における翁長雄志氏の勝利は、辺野古基地建設に対するNOという民意が明確に示したものです。今後沖縄県は基地建設中止に向けて具体的な取り組みに移りますが、平行する形で展開する米国でのジュゴン訴訟にも注目が集まります。以下その展開をまとめてみました。

今年4月に米国防総省は、原告と裁判所に対し「報告書」を提出し、2008年1月に米国家歴史保存法(NHPA)のもと連邦地裁により命じられた基地によるジュゴンへの影響の「考慮の手続き」を終えたことを伝えました。日本の環境アセスを鵜呑みにした「影響なし」の結論。それが7月1日の沖縄防衛局による工事着手へとつながっています。

7月31日には原告側が、国防総省の「手続き」には不備があると、手続きのやり直しを求める申し立てを裁判所に提出。米国内ではありえない、住民はおろか原告にさえ知らせない形で手続きが行われたこと、調査報告書も非公開であることを問題としました。

そして9月29日に国防総省は、米国法議論のPolitical Question Doctrineを主張し、原告申し立ての却下を求める反論を裁判所に提出。つまり、国防総省はNHPAの手続きをすでに終えており、手続きを

終えた時点で基地建設は「外交」「国防」問題となり、米国憲法はそこに司法の介入を認めていない、という議論です。

10月27日には原告側から再度反論を提出。原告側の申し立ては「外交」「国防」問題への介入ではなく、あくまでNHPAの手続きが守られていないことへの申し立てであるという論点です。

今後国防総省から更なる反論が裁判所に提出され、12月11日に法廷での審理が行われます。その後判決が下されることとなりますが、原告側の主張が認められれば、国防総省は再度考慮の手続きを行うこととなります。

SDCCとしては、裁判の展開を見守りつつ、国防総省に対して適切な「考慮の手続き」を求める運動を沖縄の人々や他の市民団体と協力して展開していきます。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

(沖縄 吉川秀樹)



11月15日 打ち上げ集会
7500人が沖縄県庁前に集まった



着ぐるみジュゴンと三線で、オナガ候補を応援 名護市場前の広場



当選のお礼を述べるオナガさん

「オナガ雄志必勝うまんちゅうー1万人大集会」に参加

「オナガ雄志必勝うまんちゅうー1万人大集会」は那覇セルラースタジアムに目標を大きく上回る14800人が押し寄せ大きく成功した。沖縄の未来のために、子や孫のために絶対に負られない選挙であるとの県民の思いを目に見える形で一つにした瞬間だった。

選挙応援集会で1万人を超える集会は過去にない。誰もが本当に集まるのか不安だったと言う。しかし、「勝たねば！」という思いが足を向けさせた。私も選対本部支部がチャーターしたバスで約50名の支持者と共に那覇に向かった。

続々と集まるのぼりの中に「かね秀」グループや「オキハム」ののぼりが。観光は平和産業で基地とは共存できないとして辺野古新基地建設に反対する沖縄ホテルチェーン「かりゆしグループ」とともに沖縄の平和・誇りある豊かさをオナガさんに託す沖縄企業だ。沖縄のアイデンティティーが息づく。

「自民党国会議員、自民党県連が公約を覆し、仲井真知事が辺野古埋め立てを承認したことで、オール沖縄は崩れたと自民党、仲井真等は言う。しかしそうではない。辺野古NO!は80%を超える。彼らがオール沖縄から離脱したのであり、県民はオール沖縄を堅持しづけていない。また、彼らは普天間基地の代替案を示せと言う。こんなお

かしな話はない。普天間基地は我々が誘致したものでなんでもない。県民の土地を取り上げ基地にしておいて、なぜ県民が代わりにについて考えなければならないのか。」那覇市議新風会（元自民党新風会）の金城徹氏の発言だ。わかりやすい。

集会の盛り上がりは必ずやオナガ必勝に結実されねばならない。「今夜、携帯電話の登録者に必ず電話しよう。」という行動提起にこの選挙の厳しさと決意を感じさせた集会だった。

(沖縄 高垣喜三)



「止めよう新基地建設！ 10・9県庁包囲県民大行動」に連帯して

10月9日、沖縄県庁包囲県民大行動に連帯して防衛庁前で辺野古への基地建設を許さない怒りの声を突き付けていく抗議行動が、辺野古実と一坪反戦地主会の呼びかけで行われました。緊急呼びかけにもかかわらず300人が集結しました。現地から「参加者3,800人が県庁を包囲し、基地は断固つくらせないと意気高く声を大にして闘っている」との報告に歓声が湧き上がりました。そして「県知事選に勝って安倍政権を追い込もう」と呼びかけられました。参加団体から抗議文が読み上げられ、防衛省職員に手渡されたあと、次々に発言し政府や防衛省に対し怒りを突き付けていました。

SDCCは4人でジュゴン帽子をかぶり、バナーを持って抗議行動に参加しました。今回も右翼の妨害がありましたが、罵声にも負わず、基地建設を許さない、沖縄県知事選に勝って安倍政権を追い込もうと力強くアピールし盛り上がりました。(首都圏 矢敷克子)

10/5「ストップ！辺野古新基地建設！ いま、辺野古から いま、関西から」

10月5日(日)に天王寺区民センターで「ストップ！辺野古新基地建設！いま、辺野古からいま、関西から」が開催されました。主催は「ストップ辺野古新基地建設 大阪アクション」 辺野古基地建設を止めるため、関西で活動している様々な団体が緊急につくった実行委員会で、SDCCも参加しています。200名の参加者で集会&デモが行われました。デモは難波まで。「辺野古に基地はいらない」「ジュゴンを守ろう」とアピールしました

集会では、辺野古現地のたたかひのDVDの上映と、すでに辺野古現地に駆けつけ、帰ってきた仲間の報告がありました。仲間の共通の感想は「現地の闘いは明るく、『勝てる』という確信に満ちている。今、本土での行動が大切」というものでした。SDCCからは、ジュゴン訴訟など、国際的行動について報告しました。

共同のアクションを関西でもっと広げていきたいです。(関西 松島洋介)

「いとおいしい自然を守るために～知事選挙勝利を」

ジュゴンが棲み、美しいサンゴが広がる辺野古大浦湾に新基地は絶対に作らせたくない！との思いで、名護市に10日間応援に来ています。1日目は午前中ゲート前座り込みに参加。午後からは勝手連「市民ネットやんばる」で活動しました。市民ネットやんばるでは、市立図書館で写真展を開催。写真展を通し、辺野古大浦湾の海の素晴らしさを沢山の人に知ってもらいたいという願いを込めています。入場無料で、ジュゴンの写真やアオサンゴの写真。そればかりではなく、ゲート前の市民の座り込みや海上行動の写真も展示しました。写真展の宣伝の為、毎日宣伝カーに乗り名護市中を回りました。名護市・沖縄北部の沢山の自然を感じながら、写真展開催と基地反対を訴え感慨にふけりました。

沖縄の島言葉で「かなさん」という言葉があります。愛している、愛おしいという意味です。現代語の「悲しい」と元々は同じ語源で、切ないほど愛おしい・大切にしたいという思いが込められています。この愛お



カメラマンの新藤健一さんと

しい自然を大切にしたい、守りたい。かなさんどー。そういう気持ちを募らせながら、あと2日頑張りたいと思います。ニュースが皆さんのお手元に渡っている時には、オナガ知事が誕生している事を信じて。

(関西 沖野広美)

2014満月まつりinOSAKAを終えて

今年のじゅごんの里ツアーで辺野古を訪れた6月28日、座り込みテント村前では海底ボーリング調査に抗議する集会が行われていた。「海にすわる 辺野古600日の闘い」で観た10年前と同じことが、また繰り返されるのかと思うと心が重くなった。7月から調査は強行され、キャンプシュワブゲート前では座り込み、海ではカヌー隊が出て、市民は反対の声を挙げ続けている。辺野古で今起きていることを大阪でどれだけの人知っているのか……。11月には知事選挙がある、辺野古が争点の重要な選挙、大阪で何をしようか、と考えていた。

そんな時、沖縄から『満月まつり』を同時開催しませんかと呼びかけが届いた。“ジュゴンの海に基地はいらない！まーるい地球、まーるい月、まーるい心！”の合言葉に共感し、うん！いいかもと大阪で同時開催することに決めた。やるからに楽しく盛り上げなくちゃ。目標としたのは、広く一般の人に集ってもらい辺野古のことを知ってもらうこと、現地支援のカンパを集めること、様々な団体とのネットワークを広げること、実行委員会を立ち上げることにした。

当日、沖縄は台風で中止、大阪に海勢頭豊バンドも来れず残念でしたが、ここ大阪で私たちがやる意義を充分に感じがんばりました。広場は21ものブースで賑わい、DVDの上映もあり、壁には新聞記事を貼りだし情報発信、ホールではエイサー、三線、沖縄音楽が響き、最後はみんなでカチャーシーを踊り、気持ちが1つになったと感じました。楽しかった～。

約500名の来場者があり、17万円あまりの収益を辺野古現地に送ることができました。ご賛同・ご協



ホールは、7組のライブ演奏で盛り上がりました♪



本部ブースでは、泡盛・もずくスープなどを販売



力してくださった皆さまほんとうにありがとうございました。スタッフの皆さまに感謝です！

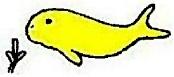
「まーるい心で平和のこと一緒に考えませんか。月の光はわけへだてなくすべてを同じように照らしてくれます。民族や宗教、人種や国境、種の垣根も越えて。『命どう宝』今この言葉の想いをかみしめて 大切に生きていきたい」(挨拶文より抜粋)

(関西 池側恵美子)

報告



ジュゴンでトレイン ～テント村を訪れて



関西事務所の発案で始まった、ジュゴンの着ぐるみと一緒にプラカードやマスコットを持って大阪環状線をぐるっと一周PRという「ジュゴンでトレイン！」は今回で6回目。「あなたの街でも！」と回を重ねるごとに沢山の広がりが見えてきました。去年は海外のタイからも報告がきたんですよ。

そこで今年は肝心要の「辺野古でトレイン！」行くしかない、と毎日大勢の方が駆けつけ座り込みを続けているキ

ャンプシュワブ前テントを目指す・・・なんと座り込み始めて以来の休日！残念。

そんな訳で大勢でとはいきませんでした。それでも集まっていた方達とお話を伺いながら記念ショットを撮ってきました。

真っ赤に日焼けしながらハナー張りなどお手伝いしてくれた神奈川から来た男の子二人組、名古屋からひとり駆け付けたという女性、首里からバスで来た孫がジュゴンのエサがなくなっちゃうと泣いた話を下さったご婦人。それぞれの思いで辺野古に駆けつけていました。

(沖縄 小平)



「大嶺岬」～ころむ・ころむ～

歌人津波古勝子さんの歌集「大嶺岬」を読んだ。1991年「残波岬」以来の久々の短歌集。一句一句読み進めるうちに涙が出た。先ず、大嶺岬が現在的那覇軍民共用空港の西海岸にあることを知り、驚いた。これまで当たり前に見てきた那覇空港。そこはかつて大嶺村であったらしい。その消えた村が津波古勝子さんの郷里とのことだ。しかもその村はジュゴンとの関わりがあって、郷愁からか幾つものジュゴン保護を訴える歌を書いている。

P19 ♪牛馬消え村の景なきのっぺらぼうわがふるさとの大嶺(うらんみ)村に似て♪

3.11 後の東北・福島の絶望を郷里に重ねて歌い、

P73 ♪大嶺に「ザン池(ぐむい)」ありその昔ジュゴンの遊べる海豊かなりし♪

と、失われた村の原姿を思ひ歌っている。

その大嶺村に、彼女は「うらんみ」とルビを付しているのが幸いであった。「うらんみ」とは本来「邑海」あるいは「大海」のこと。「龍宮神信仰の海」を意味する沖縄語である。

西原町にも「うらんみうたき」があり、その重要性について上間町長に話したばかりであった。しかし龍宮神ジュゴンの文化的歴史的価値を人々に理解させるのは大変難しい。そこで具体的な資料収集を急がねばならないが…。

そんな矢先、

P172 ♪大嶺の字の守護神「琉宮」とぞ波打ち際に石祠たつ♪

を目にした私は、導かれるように車を走らせた。そして那覇空港傍らの瀬長島に車を止め、そこから急いで大嶺岬をめざして歩き出した。途中空港のガードマンに行き方を尋ね、海岸沿い3kmほど歩いた先の小さな岬だった。そこに「龍宮」の石碑と小さな祠が新しく立てられていた。逸る胸をおさえ急いでカメラのシャッターを切る。

石碑の裏には「龍宮の紙は、字大嶺の繁栄・航海安全・豊漁を祈願して約三百年前に字民の手で建立され、ここに復元して字大嶺の礎とします。平成八年十二月二十九日、字大嶺向上会」と記されていた。

現代に続く龍宮神信仰の何よりの証である。導いてくれた津波古勝子さんに感謝するばかり。

海勢頭豊(うみせど) ゆたか:SDCC 共同代表



近世(1906年以前頃)の現空港周辺の行政区分(間切) — 沖縄歴史地図: 柏書房 1983年、p.55より抜出



おきなわ便り

☆たまには歩けウチナンチュ☆

野球試合で走る場面があると、自分の足ではなく車やバイクで走る爆笑のコマーシャルが話題となっている。

コマーシャルを見たウチナンチュはニヤリとして「わかるわかる」と内心思いつつも「やり過ぎでしょう」とつぶやいている。

そもそも、このCMの発端は長寿県の沖縄が男女ともに順位を下げており、その原因が肥満と大きく関係しているため、運動を促す為のようだ。

思えば、東京から沖縄へ帰った時に、歩道を歩く人がほとんどいないことに気づいた。

移動時間5分程のコンビニへ行くにも、夏は暑いから、冬は寒いからと車で移動する。歩かない。

東京出身の相方と結婚し、那覇市の交通の便利なところに住んでもこともあり、マイカー無し生活を4年になった。暑かろうか寒かろうか、近場への移動は歩くしかなく、バスやモノレールの時間に合わせるために走らざる得ない生活を送ってきた。

振り返れば『体重-6kg』
やったあ!!

☆たまには歩けウチナンチュ☆

『たまに』ではなく、思いきって

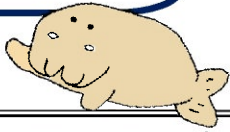
ノーマイカーの生活はどうだろうか?

交通の不便なところに住んでる貴方は、更に大きなご褒美『-2桁』も夢ではないかも。

長寿県沖縄の復活♪夢ではないのでは?!と思うこの頃である。
(中縄 仲村)

☆署名提出します☆

今回 11110 筆+α
累計は約 87471 筆+α



11月28日、環境省・防衛省・外務省と交渉し、この1年間集めた署名を提出してきます。皆さまのご協力で、今回も目標の1万筆を超える署名を集めることが出来ました。ありがとうございました。

《 今後のスケジュール 》

【首都圏】

- ◆12/1 (月) 防衛省正門前抗議行動
@防衛省前 18:30~
- ◆12/15 (月) ミーティング&忘年会
@首都圏事務所 19時~

【関西】

- ◆12/6 (土) 秘密保護法廃止! ロックアクション
@扇町公園
- ◆12/18 (木) じゅごん茶話会
@関西事務所 14時~15時半
- ◆12/21 (日) 京橋街頭行動
京橋連絡橋 14時半~16時
- ◆12/23 (火・休) 第8回生物多様性協働フォーラム
“ウナギの未来をつなげよう”
@グランフロント大阪 北館4F ナレッジアター
13時~17時

~2016年IUCN・世界自然保護会議~



国際自然保護連合(IUCN)の4年に1度の大会、第6回世界自然保護会議(WCC)がハワイ・オアフ島、ホノルルワイキキ地区のハワイ・コンベンションセンターで2016年9月1日~10日に開かれることが決まりました。SDCCは第6回WCC参加に向けて準備を始めます。また、IUCN・日本は2020年秋開催予定の第7回WCCを日本に誘致する運動を始めました。



2012年韓国・チェジュ会議

ジュゴン・スタディツアーinフィリピン

「海草調査とジュゴン観察」

調査地：フィリピン・ミンダナオ島マティ市
調査期間：12月1日~9日
主催：海の生き物を守る会
*今年2月のツアーに続いて、スタッフ1名が参加します。



食み跡調査 (2014年2月)

<冬季カンパのお願い>



今年は辺野古・大浦湾の埋め立て反対の闘いを軸に、名護市長選挙、名護市議選挙、沖縄県知事選挙と正念場の闘いを取り組みました。また、サンフランシスコ連邦地裁でジュゴン訴訟再開の審理が12月中旬に行われます。2016年開催の第6回IUCN・WCCへの準備なども含めて、活動費が増大してきています。恐れ入りますが、年末のカンパをお願い致します。

知事選カンパありがとうございました



皆さまからいただいたカンパで、東京・大阪から、スタッフ3名を沖縄知事選応援に派遣することが出来ました。

Editor's Note

関西事務所では、出張授業(環境・平和講座)を行っています。10月28日、大阪南港緑小学校に行って、小4~小6の児童の皆さんに「沖縄とジュゴンの海」のお話をしました。担当の先生が、学校のホームページに子どもたちの感想を載せてくださったのですが、いのちや基地のことを真剣に受け止めてくれたようで、とてもやりがいがありました。これからも喜んで出かけていきます。お声掛けお待ちしております。
(関西 山根富貴子)



ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.77 2014年11月25日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区土土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!